

猿橋
小学校

猿橋良玖

猿橋良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

一期一会 (いちごいちえ)

校長 磯部 裕之

右の写真は、昨年度「猿橋小学校創立 150 周年記念式典」でスペシャルゲストとしてお越しいただいた三笑亭夢丸さんから書いていただいた色紙です。校長室でお休みいただいているときに「色紙、いいですか?」とお願いしたら「もちろん!いいですよ」とサラサラサラとあっという間に書き上げてくださいました。

中央に書かれた「一期一席」という言葉。元々は「一期一会」という日本の四字熟語から夢丸さんが作ったオリジナルの言葉だと思いますが、「今日の寄席(舞台)は、人生の中で二度と巡ってこない、たった一度きりのもの。だから、今日の落語を一生に一度とって大切に務めます」といった夢丸さんの覚悟を表しているように思います。



さて、猿橋小学校は年々児童数が減ってきてはいますが、それでも各学年 80 名~100 名位の児童数を維持しています。小学校で過ごす6年の間に、同学年の中だけでも多くの出会いがあり、かかわりやつながりが生まれます。友達との出会い、先生方との出会い、多くの出会いがあるというところが、この猿橋小学校の「強み」ではないかなと考えています。

将来、どんな仕事に就くかという事にもよりますが、社会に出れば、いろいろな人と一緒になって仕事を進めていかななくてはなりません。その時に向けて、小学校だけでも 600 人以上の人と出会える猿橋小学校は、いい環境だと考えています。



「一期一会」は、元々は日本の茶道に由来する言葉だそうです。茶会に臨む際に、一生に一度の出会いであると心得て、亭主も客も誠意を尽くす心構えで臨む事を意味するとの事でした。

まさに一生に一度の小学校の卒業式を目前に控え、6年生の式練習も佳境に入ってきました。毎日、練習に真剣に臨む姿は、見ても本当に清々しい限りです。当日は、小学校の集大成として立派な姿を見せてくれることでしょう。

3月・4月と、出会いと別れの季節を迎えました。6年生に限らず、どの学年の子どもたちも、一つ一つの出会いを大切に、また新たな1年をスタートさせてほしいと願っています。

本年度の教育活動も、地域の皆様、保護者の皆様のおかげで無事終了いたします。たくさんのご支援・ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。来年度も、引き続きよろしくお願ひ致します。